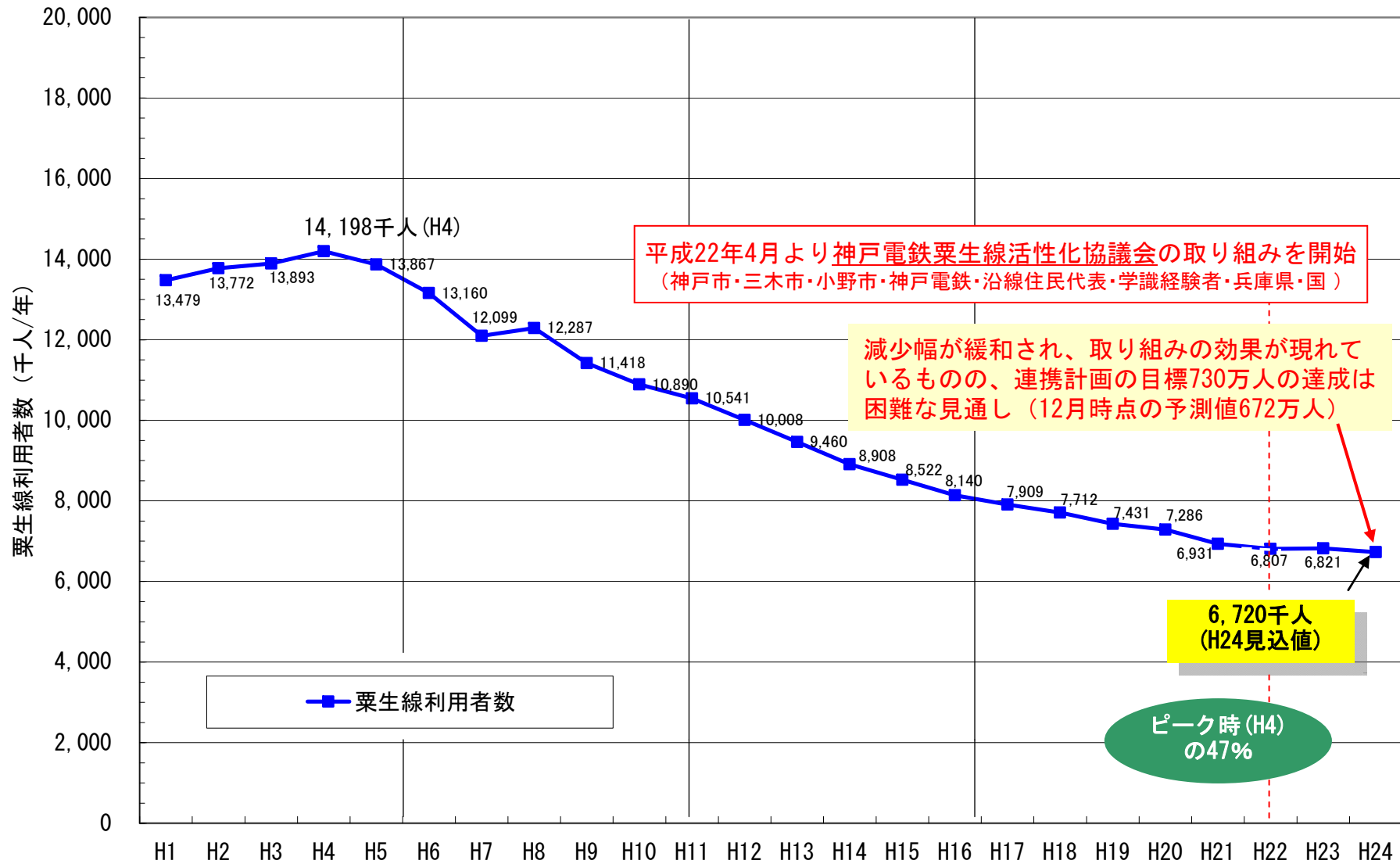


神戸電鉄粟生線活性化 地域公共交通総合連携計画(案)

平成25年2月8日

粟生線の輸送人員数の推移	1
平成22, 23年度取り組み効果の検証	2
次期連携計画における取り組みの方向性	3
平成24年度より実施した行政支援の概要	4
目標輸送人員	5
700万人台達成に向けた課題と目標 (1 / 2)	6
700万人台達成に向けた課題と目標 (2 / 2)	7
取り組む事業一覧 (1 / 2)	8
取り組む事業一覧 (2 / 2)	9

粟生線の輸送人員数の推移



平成22、23年度取り組み効果の検証と評価

取組内容		効 果		備 考
		乗車人員数	乗車人員数	
		平成22年度	平成23年度	
イ ベ ン ト	イベント（キックオフイベント、トレフェス、金物まつり、1周年イベント等）	1,370	1,622	
	ミステリートレイン	242	238	
	スタンプラリー等	12,781	11,405	
	ライブトレイン	170	-	平成23年度 県民局予算で実施
	ラッピング列車	-	792	ラッピング列車 お披露目式
	小計	14,563	14,057	
企 画 切 符	シニアパス	29,360	125,520	平成22年10月より実施
	日曜限定おでかけ4dayチケット	2,259	5,784	
	粟生線家族おでかけきっぷ	6,594	4,194	
	粟生線～三宮おでかけきっぷ	-	6,408	
	企画切符自動販売機等	7,538	-	平成23年度 各企画切符にて計上
	小計	45,751	141,906	
沿線住民、企業、学校に対するレクリエーション		-	9,600	
自治体職員による出張時の公共交通利用		-	4,946	
そ の 他	農業体験学習	2,932	710	
	環境体験学習	-	360	三木山森林公園
	七夕列車の運行と駅の笹飾り	288	-	
	P&R駐車場（月極、時間貸し）	1,606	5,674	
	小計	4,826	6,744	
合 計		65,140	177,253	
活性化の取組による乗車人員数の増加合計		約6.5万人	約17.7万人	

- ・ これまで実施した取り組みの効果はみられるが、**目標輸送人員の達成には至っていない**
- ・ 定期外に着目した取り組みが多く、**定期利用者の拡大に至っていない**

次期連携計画における取り組みの方向性

<方向性>

粟生線の安定的な維持・存続のためには、
利用者数の増加が不可欠な状況

これまでに実施した取り組みの継続に加えて、以下の3施策を中心に実施

- ・ 通勤定期利用者の減少傾向を改善
 - ① 恒常的な利用者層としての「通勤定期利用者の拡大」
- ・ 地域による主体的な取り組み・参画
 - ② 沿線地域が主体となった「利用促進・乗車運動」の展開
- ・ 公共交通を中心としたまちづくりの実施
 - ③ 中長期的な視点も含めたまちづくりの検討

H24年度より実施した行政支援の概要と目標の設定

<目的>

神戸電鉄粟生線の安定的な運行継続に寄与することを目的とする

<支援内容>

(1) 行政の支援

- ① 40億円の無利子貸付
- ② 国庫補助制度の活用

(2) 神戸電鉄による経営改善

3億円／年の経営改善

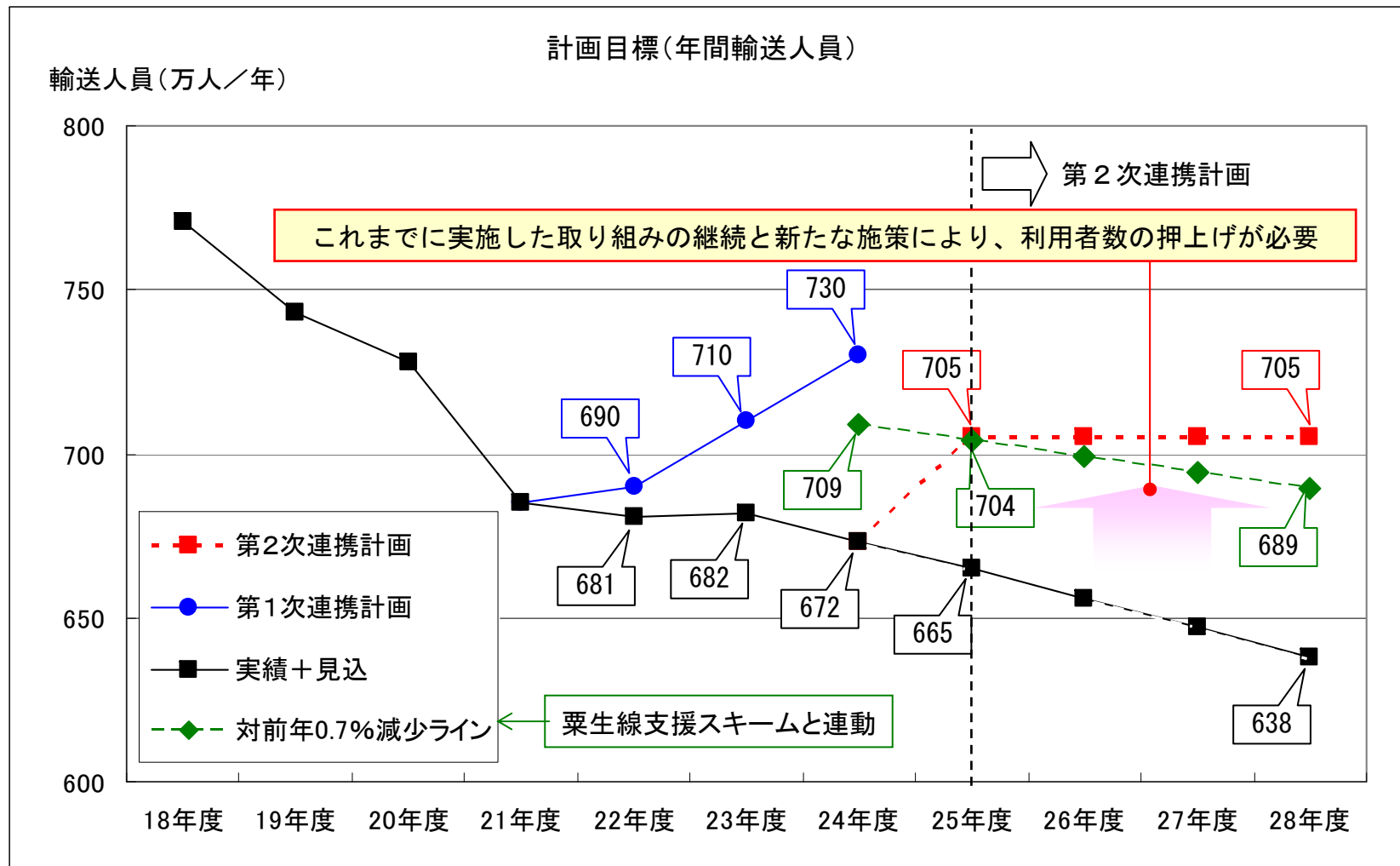
(3) 利用促進の強化

- ① 利用促進活動を強化し、利用率の維持を図る
⇒ 全線旅客運輸収入の目標値を、対前年度比0.7%減と設定
- ② 利用が低迷した場合、三木市と小野市が旅客運輸収入の補填
(1億円／年を上限)

<目標>

粟生線においても同水準を維持するため、
旅客運輸収入の目標を対前年度比0.7%減 と設定

目標輸送人員



計画期間中(平成25~28年度)、年間700万人台の利用者数を確保する

700万人台達成に向けた課題と目標（1 / 2）

＜方針1＞他の交通機関に対する競争力の向上

（課題）企画切符の効果検証と効果の高い取り組みの継続

（目標）輸送サービスの改善（継続）

＜方針2＞駅勢圏（駅の集客範囲）の拡大

（課題）既存のパーク＆ライド駐車場や駐輪場のPRによる利用者の増加
二次交通の確保

まちづくりの見直し

（目標）駅アクセスの改善と駅の活性化（継続）

駅を中心としたまちづくりの推進（新規）

※ 新たに方針7を設ける

＜方針3＞定期利用者と交流人口の拡大

（課題）定期利用者の減少抑制

新規利用者の拡大に繋がる支援制度の構築

（目標）定期利用者の増加と新規利用者の開拓（継続）

700万人台達成に向けた課題と目標（2 / 2）

<方針4> 公共交通優先利用行動の喚起

（課題） 企業、学校、住民に対する継続的な働きかけ

自治体職員の通勤・出張時の利用徹底とノーマイカーデーの推進

（目標） 公共交通利用意識の向上（継続）

<方針5> 安全で安定した鉄道輸送サービスの確保

（課題） 利用者ニーズを踏まえた、安全で安定した輸送サービスの確保

国庫補助制度を活用した施設整備の継続

（目標） 安全で安定した鉄道輸送サービスの確保（継続）

<方針6> 沿線住民との協働と沿線住民の主体的な取り組み・参画

（課題） サポーターズクラブの拡充とクラブ会員による積極的な利用促進

沿線住民自らによる粟生線の活性化に向けた取り組みの推進

既存の支援制度活用による、地域活動の活性化

（目標） **沿線住民による自主的・主体的な取り組み・参画（拡充）**

取り組む事業一覧(1/2)

方針	計画の目標	事業	継続	新規
方針1	輸送サービスの改善	①企画きつぷの充実と効果的なPR活動	○	
		②割引制度等の充実	○	
		③ダイヤの改善・運行本数見直し等の運行改善	○	
		④接客サービスの向上	○	
		⑤利用しやすい駅・快適な駅づくり	○	
方針2	駅アクセスの改善と駅の活性化	①駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信	○	
		②バスとの効果的な接続	○	
		③駅前の特色あるイベントの開催	○	
		④駅の空きスペースの活用	○	
方針3	定期利用者の増加と新規利用者の開拓	①沿線立地企業等への粟生線通勤・通学利用のPR (通勤定期利用転換促進支援制度の活用)	○	
		②小中学校等への粟生線利用の促進と支援	○	
		③地域間の各イベントとの連携強化	○	
		④沿線地域における観光資源の魅力的な活用	○	
		⑤魅力的な車窓からの景観づくり	○	
		⑥鉄道に関するイベントの開催	○	
		⑦ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信	○	

取り組む事業一覧(2/2)

方針	計画の目標	事業	継続	新規
方針4	公共交通利用意識の向上	①企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	○	
		②粟生線キャラクター等による活性化のPR	○	
		③沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動	○	
方針5	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	①国庫補助制度も活用した鉄道施設の効果的な更新	○	
		②利用者動向・ニーズに応じた輸送サービス等への改善	○	
方針6	沿線住民による自主的・主体的な取り組み・参画	①粟生線を応援する沿線住民の自主的・主体的な組織・団体の設立と具体的な取り組みの推進	○ 拡充	
		②無人駅のボランティア等による有人化	○	
		③企画きっぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ（販売拠点）の設置	○	
		④鉄道を活用する沿線住民の主体的な活動やイベント等を協議会が支援する仕組みの構築		○
方針7	駅を中心としたまちづくりの推進	①駅周辺に都市機能を集積するための施策の検討		○
		②駅周辺への市民生活に係るサービス施設などの立地促進・施設誘致		○
		③駅周辺での賑わい拠点の創出		○